

## 平成22年度 飯塚支部 活動報告書

1. 開催日時 平成22年8月20日（金）13：30～17：00
2. 開催場所 飯塚県土整備事務所および国道200号（目尾歩道橋、西町歩道橋）
3. 参加人数 県会員 16名
4. 活動内容

### 「鋼橋の腐食損傷と局部補修設計に関する技術講習会の開催」

橋梁の維持管理の重要性については、マスコミから落橋や橋梁の損傷事例が報告されるなどして、周知されてきており、国や地方自治体によるアセットマネジメントの取り組みも進んできているところです。

今回、(財)土木研究センターから講師を招き、鋼橋の維持管理において、腐食が著しい箇所にはブラストによる1種ケレンや補強を行う「局部的な補修設計」に関する技術講習会および現場見学会を開催しました。

講習会では、講師より、鋼橋の損傷要因で最たるものは腐食ですが、旧塗装便覧から防食便覧への改訂により1種ケレンが原則となった今も、現場状況等の理由により3種ケレンが実施されていると報告がありました。

動力工具による3種ケレンでは、完全な錆の除去は不可能で、橋梁健全性の低下を避けることはできないと教えていただきました。

予算減少の折、今後の維持管理は、従来型の3種ケレンで全面再塗装するのではなく、腐食の著しい箇所を1種ケレンで、それ以外の健全部は表層のみの塗り替え、もしくは「何もしない」という「局部補修」を実施することが必要であるとのことでした。

また、技術講習会は講義だけでなく、実際に現場でブラストの施工状況を見学させていただきました。

ブラストの問題点である粉塵対策について有効な、「バキュームブラスト工法」を見学させていただきましたが、騒音はするものの、大がかりな仮設材も必要ない「バキュームブラスト工法」は、今後普及が望まれると思われれます。

目尾歩道橋は、腐食で鋼材に穴があいていましたが、講師より「穴があいているからといって、すぐに補修補強を考えるのではなく、構造部材かどうか見極めが必要である。本現場の場合、構造部材ではないので特に補修補強は必要ないが、学童の通学路でもあるので、FRPによる穴ふさぎで対応する。」と説明がありました。

鋼構造物の補修補強設計における基本的な考え方を教えていただき、大変参考になりました。

今回、錆の著しい箇所には1種ケレンを実施するという「局部補修設計」の考え方を学ぶとともに、1種ケレン施工時の粉塵対策として有効な、バキュームブラストを実際に現場で見学することができたのは、会員の知識・技術の向上につながったと考えます。

## 支部活動報告



講習会の状況



ブラスト機材の見学状況



ブラスト施工状況